

調査結果にみる宮城の青年像

1. まじめで堅実な青年たち

自分自身や社会の将来を見通して、真面目にそして堅実に生活しようという姿勢がみられる。青年の多くは、休日は、テレビや雑誌などをみてのんびり過ごしているものの、今後は友人や家族と過ごしたいと考えている。また、自分の生き方のことで悩み、若いうちに将来役立つ技術や資格を取得したい、自分の内面を豊かにしたいと思っている。

- * 休日の過ごし方(Q1)：現在「テレビ、雑誌などをみてのんびり過ごす」(第1位/18項目中、55.7%)、今後「友人と過ごす」(第1位、48.5%)、「家族と共に過ごす」(第3位 42.8%)
- * 個人的に悩んでいること(Q13)：「自分の生き方のこと」(第1位/11項目中、54.1%)
- * 若いうちにぜひやっておきたいこと(Q14)：「将来役立つ技術・資格を得る」(第2位/19項目中、61.7%)「自分の内面生活を豊かにする」(第5位、48.5%)

2. 自分の生活や身近な環境に満足している青年たち

青年の多くは、生活全般に対してそれなりに満足しており、家庭、学校・職場・地域のどこかに、自分自身の成長を支援してくれる人・場所があると考えている。

- * 経験をもとにしたことを伝えてくれる人がいる(Q5)：「家庭」(57.4%)、「学校・職場」(60.6%)
- * 自分自身の居場所だと思える(Q6)：「家庭」(74.4%)、「学校・職場」(39.2%)
- * 自分自身の経験や技能を生かせる(Q6)：「学校・職場」(60.9%)、「家庭」(26.1%)
- * 生活全般に対する満足度(Q12)：59.9%(「満足」13.9%+「やや満足」46.0%)

3. 人間関係を重視する青年たち

人間関係を維持したり構築することを重視する傾向がある。ほとんどの青年は年齢が同じくらいの友人をもち、学校・職場には友人がいる。年齢の離れた友人やネット上の友人がいる青年も少なくない。休日には友人と過ごすことが多く、今後もそうしたいと思っている。また、若いうちに、一生付き合える友人を得たい、いろいろな人と付き合っって人間関係を豊かにしたいと考えており、実際に、地域での活動などを通して行っている。

- * 友人の存在(Q2)：「年齢が同じくらいの友人」(96.7%)、「職場・学校の友人」(84.4%)、「5歳以上年齢の離れた友人」(57.6%)、「メル友・ネット上の友人」(18.3%)
- * 今後の休日の過ごし方(Q1)：「友人と共に過ごす」(第1位/18項目中、48.5%)
- * 若いうちにぜひやっておきたいこと(Q14)：「人間関係を豊かにする」(第1位/17項目中、63.9%)、「一生付き合える友人を得る」(第3位、60.1%)
- * 地域の活動に参加してよかったこと(Q10-SQ3)：「年齢の異なる人との交流ができた」(第1位/8項目中、57.1%)

4. 地域のことを想い、地域とかわることを期待する青年たち

多くの青年は、自分が現在住んでいる地域に愛着を感じており、今後も地域とのかかわりを積極的に持とうと考えている。地元の市町村が好きで、地元の話題が気になる青年も多い。ほぼ半数の青年は地域の活動に参加した経験があり、約8割の青年は今後参加したいと考えている。さらに、企画や運営にかかわりたいと考えている青年も多い。

- * 地域への愛着心 (Q7) : 「現在住んでいる市町村が好き」(89.6%)、(Q9)「テレビ番組などで、いま住んでいる市町村のことが話題になっていると気になる」(82.9%)
- * 地域のイベント・活動への参加 (Q11) : 「参加率」(48.1%)、「参加希望率」(79.1%)、「企画・運営への参加希望率」(57.3%)

5. 社会に対する評価は厳しいが個人志向の強い青年たち

自分自身の生活や身近な環境にはそれなりに満足し、地域ともかかわりを持とうと考えている青年たちであるが、今日の社会状況に対しては不満を抱き、10年後の日本は現状より悪くなっていると予想する。このような状況を踏まえ、若いうちに、社会や故郷をよりよくするための活動に参加したいとの希望を持ち、将来は社会のために貢献する生き方をしたいと考えている青年はいるものの少数派で、自分自身で社会を変えたり、日本を良くするような活動や生き方に意欲を示す青年は少ない。将来は、家族のために努力したり、自分の趣味を大切に暮らすことを希望しており、若いうちには、人間関係を豊かにしたり、趣味や楽しいことを思う存分したいと考えているなど、個人志向が強い。

- * 日本の社会全般に対する不満足度 (Q12) : 68.8%(「不満」37.0%+「やや不満」31.8%)
- * 10年後の日本の社会状況 (Q16) : 「現在より悪い状況になりそう」(50.7%)、「現在より良い状況になりそう」(9.2%)
- * 将来の生き方 (Q15) : 「家族のために努力する」(第1位/6項目中、32.9%)、「趣味を大切に自分の好きなように暮らす」(第2位、27.3%)、「社会のために貢献する」(第5位、5.4%)
- * 若いうちにぜひやっておきたいこと (Q14) : 「人間関係を豊かにする」(第1位/18項目、63.9%)、「故郷をよりよくするための活動に参加する」(第17位、13.9%)「社会をよりよくするための努力する」(第18位、12.7%)

(付記) 今回の調査では、無作為でのサンプル抽出を行っていない。そのため、上記の青年の特徴は、今回の調査に回答してくれた青年層のものであり、宮城県の青年の全体像とは若干のずれがあることも考えられる。